



夏季休業中に、専門性向上研修会「無駄な会議をなくそう！～見やすい記録＝グラフィックレコーディングから学ぶ～」を実施しました。「少しでも無駄な時間を少なくし、よりこどもたちの授業づくりに時間をかけたい！」という教師の願いを叶えるため、秋田ファシリテーション事務所まちづくりファシリテーターの平元氏をお招きしました。まず、平元氏がファシリテーターとなり、本校の「話し合いの困ったあるある」をグラフィック・レコーディング(＝グラレコ)していただきました。感じたことは、①共通認識が持ちやすい。②話の流れが分かりやすい。③発想が刺激され、話し合いが活性化される。④「聞いてくれる」という安心感を与える。⑤誰が話したかではなく、「何を話したか」に着目できる。まさに、「フラットで創造的な話し合いができる」ことに気がきました。グラレコを活用することで、円滑な会議を行うことが期待されます。是非、今後の話し合いに活用していきましょう！また、校内の様々な会議で、グラレコを記録としても良いということになりましたので、グラレコにチャレンジし、こどもたちのために時間を活用していきましょう☆



秋田ファシリテーション事務所
まちづくりファシリテーター
平元 美沙緒 氏

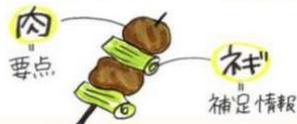
☆グラレコとは・・・？☆



要約のポイント

要約: 重要なところをまとめて短く表現すること

- ①話し合いのテーマを軸に要点をつかむ
- ②何度も繰り返す言葉や、声を大きくしたところ、「つまり…」 「要するに…」の後など、重要になりそうなポイントを察知
- ③重要なところを文字の大きさや色、アイコン、枠などを使って目立たせる

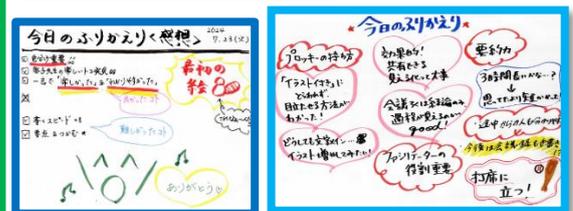


グラレコは、参加者同士の相互作用を大切にしているという点から、「授業づくり」にも生かされそうです。

このグラフィックレコーディングには、今年度の全校研究のテーマ「主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業作り」の【対話的な姿】を引き出すときに生かせるスキルがあるかと思います。こども達が活き活きと取り組める授業作りを目指し、日頃の授業力の向上を目指していきたいと思います。



☆☆☆☆感想グラレコ☆☆☆☆



教師一人一人が自分を振り返り、どのように生かしていくかを考える時間となりました。まずは、「打席に立つ！」これからたくさんグラフィックレコーディングで記録を作ってみましょう。